

# はと時計6月号

2026年6月1日発行

## 特集：手紙

手紙を書いたことはありますか。手紙という手段は、すっかり時代遅れになってしまったでしょうか。でも「一番うれしかったプレゼントは？」という質問に案外「〇〇（友達とかお母さんとか）からのお手紙」とこたえる人は多いですよ！今回は、「手紙」にまつわる本を集めてみました。

### 『ツバキ文具店』小川糸著 幻冬舎文庫 2018年

鎌倉にあるツバキ文具店は、江戸時代から続くお店。先代の祖母から受け継いだ鳩子は、なんとか店を継続しようとがんばります。様々な人の手紙（借金のお断りや離婚のあいさつ、天国からの手紙）を代筆する鳩子の日常を描く小説。魅力的な文房具の描写もすてきです。

### 『暮らしの図鑑 手紙の楽しみ』堤信子監修 翔泳社 2024年

手紙を送るときに様々なアイデアを、グラフィカルにたくさんの写真と共に提供してくれる本。便箋に香りをつける方法や魔法使いが使うような「シーリングワックス」の使い方など。お手紙を出してみたくになりますよ！

### 『ブロックハート・グローブの謎の屋敷 メニム一家の物語』シルヴィア・ウォー作 講談社 1995年

この世にはありがたくない手紙というものもあります。例えば、遠方に住む大家さんから「近くに行くからおうちにお邪魔したい」みたいなことが書いてある手紙は。この物語に出てくるメニム一家には大きな秘密があります。それは人間のふりをして暮らしている〇〇だということ。とにかく現代は、隣近所とのつきあひもないし、お金だって人に会わないで稼ぐことができるのですから、彼らが人間でなくなっても、そのふりをして暮らすのは可能なのです。長女のアブルビーが「永遠の」15歳だってことも、他人には気づかれない世の中ですから。そんな一家にとって、大家さんが訪ねてくることは青天の霹靂！絶対に阻止しないとイケないです。かれらの正体は…。ユニークなファンタジー小説。

### 『クロードアの秘密』E.L.カゲズバーク作 岩波少年文庫 1975年

クロードアは、姉弟のなかで、唯一女だからという理由でお手伝いさせられることを不公平に感じ家出をすることにします。でも虫は大嫌いだから野宿なんてありえません。行く先は、NYのメトロポリタン美術館、ここなら快適な家出生活を送れそうだから。家出にはお金だってかかります。だからお金を貯めている弟、ジェイミーを誘って。このクロードアという少女の家出にまつわる話をおおあさんが手紙で弁護士に報告する形になっています。その理由は…読んでのお楽しみ♪

### 『あしながおじさん 世界でいちばん楽しい手紙』J・ウェブスター作・絵 青い鳥文庫 2011年

孤児院育ちのジュディ。ある謎の紳士からの「毎月、勉強の進捗を報告する手紙を書けば大学の教育を受けさせる」という話を受けます。ジュディは、チラッと見かけた孤児院を去るその紳士の足のシルエットがあまりにも長かったことから「あしながおじさん」と呼ぶことに。名前も顔も明かされない「おじさん」へ、ジュディが綴るゆかいな手紙文でこの物語はなりました。最後にこの「おじさん」が誰か明かされるのですが…ジュディのユーモアあふれる文字がハッピーエンドに導きます。

### 『ちょこっと折るだけでカウイイ おりがみ手紙』mizutama著 ブティック社 2014年

メモにお手紙を書いて、すてきに折って、友達に送ったことがある人は多いでしょう。この本には手紙の折り方のアイデアがいっぱい！リボンやカップケーキ、キャンディやパンダの形…。今度の手紙はどの折り方にします？

### 『恋文の技術』森見登美彦著 ポプラ文庫 2024年

クラゲの研究で能登にいる大学院生・守田が、京都の仲間や家族、この作品を執筆している作家：森見登美彦に手紙を書きまくる書簡体小説。恋文（ラブレター）がうまく書けるように文通修行を繰り返しますが、肝心のラブレターはなかなか書けなくて…。

### 『往復書簡』湊かなえ著 幻冬舎文庫 2012年

同級生同士や教師と教え子の手紙のやりとりの奥に、少しずつ浮かび上がる真実。言葉に隠された思いと、予想を揺さぶる展開に引き込まれる、手紙形式のミステリー連作。

### 『手紙』東野圭吾著 文春文庫 2006年

弟の進学資金のために強盗殺人の罪を犯し、犯罪者となった兄から月に一度届く手紙。しかし、刑務所からの手紙は、弟・直貴の人生、進学や就職、恋愛など平凡な暮らしを破壊してしまいます。加害者側の家族を描き、様々な感情をよびおこす作品。特に最後に出てくる兄からの手紙は、読者に強い印象を残します。映画化もされています。



# はと時計 B面

2026年6月1日発行 283号 担当：眞鍋



## 6月1日（月）～8日（月） チャリティブックセール

雑誌Casa Brutus、キネマ旬報、AERA、NEWSWEEK日本版、大学への数学、MOE、文藝春秋、たくさんのふしぎ、芸術新潮、NUMBER、日本の美をめぐるのバックナンバーやなつかしい絵本、旅行ガイドなど1冊10円以上の寄付でおわけします。お買い得！



## 6月2日（火）～4日（木）トライやる・ウィーク

筒井台中学校の2年生が2名、トライやる・ウィークで図書館にやってきます。本の返却や配架、展示づくりなど、ふだんは見えにくい図書館の仕事に挑戦してもらいます。図書館は、本を読む場所であると同時に、多くの人の手で支えられている場所でもあります。筒井台中学生のみなさんがどんな発見をしてくれるのか、今から楽しみです。見かけたらぜひ声をかけてください。

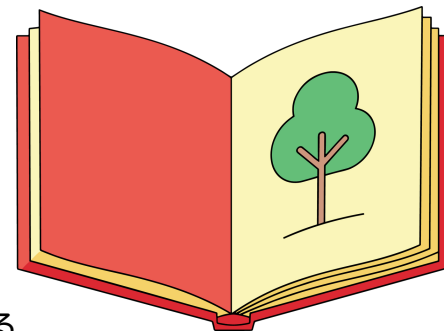
## 先月、兵庫県立図書館の電子書籍のIDとパスワードを松蔭生全員に配布しました。

宝塚関連の本、『小学生きほんの英単語』、『郷土ゆかりの人物総覧』、ことりっぷやまっぷるマガジン（旅行ガイド）の神戸版、『おうちで作れる実験スイーツレシピ』、『12歳までに身につけたい自分の「好き」をことばにできるノート』、『虫がよるこぶ花図鑑』、『疑問が解ける薬のはなし』、『おとなも子どもも知りたい生成AIの教室』、『こども調べ方教室』など様々な本があります。特に調べものには役に立つ事典・辞典類が充実しています。ぜひログインしていろいろみてください。やり方がわからない、あるいはIDとパスワードを忘れてしまった人は図書館カウンターまで

## 6月1日～ 絵本ボランティア

アジアのこどもの本が少ない国に、絵本の翻訳シールを貼って送ります。切って貼るだけなので手ぶらで参加してください。

（高校2年生の英語の教科書にも載っている、シャンティ国際ボランティア会の活動です）



『おおきくなったら、なんになる？』刀根里衣著 NHK出版 2022  
カンボジア（クメール語）

『「はい」「いいえ」ほうこく』浜田桂子著 理論社 2023

ミャンマー難民キャンプ（ビルマ語）

『パンダなりきりたいそう』いりやまさとし著 講談社 2016

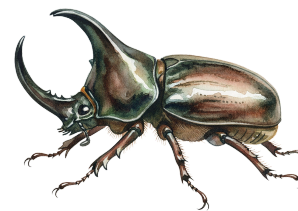
ミャンマー難民キャンプ（ビルマ語）

『みつけた！こんちゅう』鎌田歩著 教育画劇 2020

ミャンマー難民キャンプ（カレン語）

『ぞうきはやしのスモウたいかい』広野多珂子作 廣野研一絵  
福音館書店 2012

ラオス（ラオス語）



## 図書館の開館時間が変わりました。

月～金 8：30～17：00

土 8：30～15：30

6月5日（金）団体鑑賞の日は閉館です。

